

令和4年9月 北九州市議会定例会

決算特別委員会 資料

危機管理室

令和4年9月市議会 危機管理室議案等について

1 令和3年度北九州市一般会計決算のうち所管分

(1) 危機管理室決算額

【歳入】

(単位 千円)

区 分	予算現額 A	決算額 B	予算決算比較 B-A
18款 国庫支出金	—	—	—
2項11目1節消防費補助金			
危機管理室所管分	36,329	26,617	△9,712
20款 財産収入	—	—	—
1項3目1節基金運用収入			
危機管理室所管分	62	14	△48
24款 諸収入	—	—	—
6項4目3節総務管理費雑入			
危機管理室所管分	48,000	46,011	△1,989
30節消防費雑入	—	—	—
危機管理室所管分	12,890	2,653	△10,237
25款 市債	—	—	—
1項11目1節消防債			
危機管理室所管分	170,000	114,000	△56,000
合 計	267,281	189,295	△77,986

【歳出】

(単位 千円)

区 分	予算現額 A	決算額 B	繰越額 C	不用額 A-B-C	執行率 B/A
12款 消防費					
1項5目危機管理費	388,141	266,407	—	121,734	68.6%
事業費	375,598	259,262	—	116,336	69.0%
被災地復興支援経費	12,543	7,145	—	5,398	57.0%
3款 保健福祉費	—	—	—	—	—
7項1目災害救助費					
災害救助基金積立金	62	14	—	48	23.0%
合 計	388,203	266,421	—	121,782	68.6%

(2) 主要施策と主な事業

① 防災対策強化経費	110,457 千円
------------	------------

○ みんな de Bousai まちづくり推進事業【4,968 千円】

災害から命を守りぬくために、自ら命を守る「自助」意識の醸成や地域で助け合う「共助」の風土づくりなどによる地域防災力の向上を目指して、地区防災計画策定支援による地域の防災活動の活性化を図るとともに、地域防災の新たな担い手の育成に取り組んだ。

○ 大規模災害に備えた備蓄整備事業【16,028 千円】

大規模災害に備えた非常用の食料及び飲料水などの備蓄物資を整備した。

○ 防災ガイドブック作成事業【49,344 千円】

激甚化・頻発化する自然災害に対する市民の防災意識向上を図るため、防災啓発や各種災害に対応した避難場所等に関する最新情報を掲載した、ガイドブック・ハザードマップを作成した。

○ 地域と連携した避難所開設・運営モデル事業【2,876 千円】

大雨や台風などによって災害が発生する恐れが高まり、予定避難所を開設する際に、避難所の開設と運営を地域と連携して行うモデル事業を実施した。

○ B C P 見直し関連調査検討事業【21,450 千円】

本市の業務継続計画（B C P）の見直しに関連して、福岡県が公表した想定最大規模の降雨や高潮による紫川からの浸水により、本庁舎及び小倉北区役所が被害を受けた場合の影響や対策について調査検討を行った。

② 防災訓練経費	2,915 千円
----------	----------

○ 防災訓練（市総合防災訓練、区防災訓練）【2,915 千円】

市総合防災訓練は、市内で大規模災害が発生した場合を想定し、救援物資の搬入から集配センターでの荷捌き、避難所への配送までの一連の流れを想定した訓練を実施予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大による緊急事態宣言下のため、中止した。

区防災訓練では、区の地域特性に応じた防災訓練を実施し、地域住民の防災意識の高揚と区における防災体制の充実を図った。

③ 防災通信体制経費	140,180 千円
------------	------------

○ 防災行政無線【10,759 千円】

沿岸部の住民等に対して、津波に関する情報を迅速かつ効果的に伝達する手段である防災スピーカーの適正な維持管理を行った。

○ 北九州市総合防災情報システム構築【114,954 千円】

災害対策（警戒）本部において迅速で的確な意思決定や応急対策を行うため、気象情報や被災状況を効果的に収集・共有し、正確な情報発信を可能とするシステムの構築を行った。

④ 被災地復興支援経費	7,145 千円
-------------	----------

○ 被災地復興支援事業【4,559 千円】※

平成 28 年熊本地震、平成 29 年 7 月九州北部豪雨及び令和 2 年 7 月豪雨の被災地への職員派遣など、被災地のニーズに即した支援活動を実施した。

※うち本市負担分 1,906 千円、職員派遣先自治体負担金収入分 2,653 千円

○ 被災地との連携・交流事業【2,586 千円】

東日本大震災から 10 年の節目を迎えるにあたり、本市のこれまでの支援について振り返る記録誌を作成した。